

公益社団法人高島市シルバー人材センター

令和4年度事業報告

事業の概要

令和4年度高島市シルバー人材センターの事業は、下記のとおりです。

	令和4年度	令和3年度	備 考
会 員 数	500 人	503 人	前年比 99.4%
就業実人員	416 人	406 人	派遣含)前年比 102.5%
就業延人員	33,461 人	33,982 人	派遣含)前年比 98.5%
就 業 率	83.2%	80.7%	前年比 103.1%
受託件数	3,352 件	3,538 件	派遣含)前年比 94.7%
受託契約金額	105,386,733 円	106,647,624 円	前年比 98.8%
労働者派遣額	39,623,498 円	38,325,016 円	前年比 103.4%
合 計	145,010,231 円	144,972,640 円	派遣含)前年比 100.0%

令和4年度は、新型コロナウイルスの蔓延が収束しない中、予想以上に厳しい状況となりました。会員の感染はなかったものの、新規入会会員の減少やコロナ過による就業実人員の減少が続いています。

受託事業は一般企業が前年比 98.8%、労働者派遣事業が前年比 103.4%と一昨年からは持ち直しているものの、昨年とは同等額で、未だ業績が回復していない状況にあります。そのような厳しい中、受託事業で実施している「ふるさと納税」の返礼品としての生活支援サービス（草刈、剪定等）のリピーター依頼が定着し、受託事業の新たな取り組みとして明るい兆しがみえてきました。

会員数は新規入会者 38 名、退会者 41 名と前年より 3 名も減少しました。加齢に伴う体調不良が主な原因で、体調回復を目指す間、退会抑止策として「プラチナ会員制度」で確保に努めています。全国的に 100 万人の会員を獲得する取り組みが実施されており、また、連合会挙げて会員増強を目指している中、減少を招いたことを猛省し、会員獲得のための方策を見直してまいります。

新型コロナウイルスの蔓延による影響は減少し、回復傾向にあるものの、業績の低迷ははっきりと現われました。

本年10月より始まるインボイス制度により、事務経費の増大が予想されることから、業績の回復、会員数の拡大はセンターの存続にかかわる重大な事象であり、センターの基本業務に立ち返り、新たな時代に即した取り組みが必需と考えています。

事業の詳細

1、 就業機会の確保および提供

- ・高島市の委託事業である「ごみ減量作戦」は委託事業として受託5年目となり高島市内の「区・自治会」に対する環境学習および街頭啓発に取り組みましたが、新型コロナウイルスの影響は環境学習会1自治会・6回の活動に終わりました。出役会員数述べ30人、73,700円の実績と低調でした。
- ・高島市より委託を受けている、今津・新旭・安曇川・高島の市営駐車場の管理業務は8年目に入り、利用者も慣れ、安定的な作業として会員の就業状況も良くなりました。
- ・高島市の「総合事業」である家事援助サービスは、利用者も増加し、就業述べ人員432名 実績734,800円と徐々に向上してきました。
- ・派遣事業は新型コロナの影響で一般企業の生産縮小、福祉・医療機関のデイサービスの利用者制限等により、厳しい状況が続いています。流通業界等新規開拓による、会員就業機会の確保に継続して取り組んでいます。また、福祉関連の運転業務は会員の高齢化と、運転希望者が少なく就業人員の確保に苦慮している現状です。
- ・文化財調査（高島市教育委員会文化財課及び滋賀県文化財保護協会）については、全て派遣業務に変更になりましたが、出役延べ人数608人、実績4,184,967円と前年比が大幅に増額となりました。
- ・新規企業の取り組みもありましたが、派遣事業全体として大きく実績を伸ばすには至りませんでした。

2、 安全・適正就業対策推進事業

「安全は一声かけるゆとりから」を合言葉に取り組んでいます。

◆6月17日令和4年度安全・適正就業推進委員会開催。

令和4年度安全・適正推進計画について

令和4年度安全大会の開催について

◆8月30日安全大会を開催。（藤樹の里文化芸術会館）

高齢者の交通安全対策について

講師：高島警察署交通課 中島係長

シルバー人材センターの安全就業について

講師：滋賀県シルバー人材センター連合会 中島事務局長

◆9月23日グッドドライバー・レッスン（今津総合運動公園）

ドライビング・ストレッチ訓練、サポカー体験

◆令和4年6月27日令和4年度安全就業推進委員会（連合会）

◆令和4年7月13日令和4年度県安全パトロール（除草作業・高島市内）

◆令和4年8月25日令和4年度県安全パトロール（剪定作業・長浜市内）

◆令和4年9月9日令和4年度第1回安全・適正就業推進会議

（滋賀県農業教育情報センター）

- ◆令和5年1月30日 令和4年度安全就業指導者会議（オンライン会議）
2月10日
- ◆令和5年2月13日 令和4年度第2回安全・適正就業推進会議
(滋賀県農業教育情報センター)

3、独自事業の推進

独自事業は会員の自主性と能力を発揮し就業機会を確保することが目的で、今年度は3事業と会員拡大を目指して、会員拡大に努めました。

子育て支援サービスは、3年ぶりに高島子どもフェスティバル事業への協賛させていただいた。

また、県での子育て支援フェスティバルは中止になりましたが、県連合会主催の県シルバーフェアに参加協力しました。

イ、刃物研ぎ事業

就業延人員 60名 実績180,370円 前年比69.2%

ロ、特産品販売事業（道の駅）

就業延人員 46名 実績188,402円 前年比33.8%

ハ、剪定枝葉チップ堆肥化事業

就業延人員 45名（堆肥化）
実績108,487円 前年比19.5%

ニ、ハローワーク入会説明会説明員

就業延人員 11名 実績 20,700円 令和3年度より取組

4、普及啓発活動

当センターの存在意義を高めるためには、積極的な活動、PRが必要であり市民の理解を得るため、下記の普及啓発活動を行いました。

- 当センターの活動内容を周知するため「シルバー高島」を年間3回発行し市民向け、会員を通じPRに努めました。
- 会員募集のため、新聞折込によるチラシ配布。16,700枚を2回実施。
ハローワークにて「仕事説明会」と称し実施。来場者26名入会10名
- 10月の第3水曜日は「シルバー環境美化の日」と定められていますが、本年は（令和4年10月12日）に県下一斉に清掃活動実施。当センターは6地区においてボランティア活動を実施。別紙事業実施状況のとおり147人の会員が参加しました。

5、福祉・家事援助サービス事業

介護保険法の改正に伴う「総合事業」の取り組みとして、5年目を迎え高島市訪問型サービスBの実績が利用者10件、就業会員6名、実績金額

604,800円を計上することができました。現状新規の利用者が徐々に増加しており、今後さらなる取組のため、会員の増強が急務と思われれます。派遣事業で実施している、社会福祉協議会及び市内福祉団体の福祉施設利用者の送迎も、既存会員が加齢に伴い交代等希望が多く運転希望者の入会が少ないため、確保に苦慮いたしました。

社会福祉協議会および個人から入院患者の洗濯業務の依頼も増加し、今後の福祉サービスの大切な位置づけとなり、女性会員の就業拡大につながる事業と考えます。女性会員拡大に苦慮している中、魅力ある情報発信ができなかったことが、会員獲得に至らなかったと考えます。

6、職業紹介事業

本年度は、職業紹介事業の問い合わせ・実績はありませんでした。

7、労働者派遣事業の推進

国の「高齢者・現役世代雇用サポート事業」は、労働者派遣により労働力不足の分野に注力することを目的とした事業で、流通業界、一般企業、福祉等各事業所で求められる職種に対し積極的就業機会の確保に努めました。

派遣先においても、新型コロナウイルスの収束が見えない中、事業の正常化、新しい取り組みにも苦慮されている様子である。本年度業績が低迷したこともあり、将来を見据えた具体的な提案が出来ていなかったことを反省し、今後の活動に生かします。

8、公共団体等への事業参加

① 高島市「セーフティーたかしま」交通安全推進協議会事業

年に2回 春・秋の交通安全運動に合わせ安全出発式、幹事として会議出席、街頭啓発に参加する等高齢者の団体として期待を寄せられています。

今年度は、10月に高島交通安全市民大会が開催され、安全運転功労者表彰や・子どもの絵作品展の表彰が行われ参加協力しました。